

【開会の挨拶】

折 橋 伸 哉

東北学院大学経営研究所次長・東北学院大学経営学部教授

皆さん、こんにちは。本日は、東北学院大学経営研究所公開シンポジウムにお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本来ならば、経営学部長の高橋がごあいさつ申し上げるべきところではありますけれども、授業の関係で私、経営研究所次長の折橋が、僭越ながらあいさつを申し上げます。

本日は、遠方より中小企業の経営ならびに支援に携わっておられる3名の講師の先生方をお招きさせていただきました。ご報告順に、富山市の武内プレス工業株式会社の武内社長様、それから三重県四日市市の株式会社伊藤製作所の伊藤社長様、そして自動車産業研究シリーズで毎年のようにご登壇いただいております広島市立大学の岩城様でございます。お忙しい中、お越しいただき、またご報告をご準備いただきまして、大変ありがたく、衷心より御礼申し上げます。

また、武内社長様からはご来場の皆さまに、自社製品を使用されましたカボスジュースをお持ちいただきました。既に皆さまのお手元に配布されているものと思います。重ねまして御礼申し上げます。

なお、伊藤社長様は、つい先日、ご高著『ニッポンのすごい親父力経営 続・モノづくりこそニッポンの砦』を出版されました。受付脇にて、ご希望の方には割引価格で販売をさせていただいておりますので、ご興味のある方はお立ち寄りいただければと思います。

まず、主催いたします経営研究所につきまして簡単に紹介させていただきたいと思います。

本経営研究所は、2009年に経済学部経営学科が独立いたしまして経営学部になるのに伴いまして、それまでの経理研究所を経営研究所へと発展的に改組し、さらに経済学部附属研究所である東北産業経済研究所から、その機能の一部を分離・独立する形で経営研究所に取り込みまして、独立して活動を始めさせていただいた研究所でございます。それ以降は前身の経理研究所時代から続けてまいりました会計学関係の研究会に加えまして、二つの研究領域について新たに重点的に研究を進めてまいりました。そのうちの 하나가、本日もこのシンポジウムを開催させていただいております、自動車関連産業を初めとする地域産業振興についての研究でございます。

2008年から、『東北地方と自動車産業』と題しまして、6年間にわたって継続的に開催をさせていただき、一昨年に同じ表題の書物を上梓させていただきました。手前味噌ながら、他地域との比較の視点も入れることができて、幅広い読者にとって有益な図書をまとめることができたと思っております。受付脇にて、出版社が本日限りの特別価格にて販売いたしております。

もう一つは、観光産業に重点を置いた『おもてなしの経営学』というテーマでありまして、こ

ちらは旅館・ホテルのおかみさんや地元観光協会、そして東日本旅客鉄道株式会社の関係者の方をお招きいたしまして、経営上のさまざまな問題について研究を深めております。こちらもおかげさまで、これまでに3冊の書をまとめ上げることができました。こちらにつきましても、出版社が同じものですから、特別価格にて入口のほうで販売をさせていただいております。

しかも、通常、研究だけにとどまってしまうのですけれども、私どもは研究だけにとどまらず、これら二つのテーマにつきましては、それぞれ授業を設けて展開しております。まず、自動車関連につきましては、ケーススタディの授業、そして経営現場からさまざまな講師をお招きして学生に講話を聞かせるといった授業を展開しております。

また、もう一つのおもてなしのほうも、旅館のおかみさんたちに、実際に大学までお越しいただきまして、300名近くの学生を前にして、おもてなしの精神やそれをめぐるさまざまな経営上の課題について講話をいただいております、このように、研究と教育の両面で推進いたしております。

本日は自動車産業のみにとどまらず、ものづくり産業全般に分析範囲を広げまして、それを支える中小企業の経営上の諸課題について幅広く議論を展開し、多くの知見を得ることができると期待いたしております。

以上、簡単ではございますけれども、経営研究所の紹介等を兼ねまして、開会のあいさつとさせていただきますと思います。きょうはどうぞよろしく願いいたします。